

子どもの孤立に気付く ～＜小さな居場所＞から始める地域づくり～

よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会は、地域で孤立している子ども若者たちの実態を知り、理解を深め、これらの子ども若者たちの社会参加を応援すること、地域に住む市民みんなが日ごろから少しずつ気にかけて声掛けや協力をしていこうと、市民・事業者・行政関係職員・研究者の枠を超えて立ち上がった団体です。

対象 地域で子どもの居場所に関わる市民および行政関係職員、その他関心のある方
幅広い皆様の申し込みをお待ちしています。

(単発でのお申し込みも可能です。各回定員に達し次第締切となります。)

開催日

テーマ

会場

第1回

「地域全体で子どもの育ちを支える」

関内ホール地下

7/11(土)

10:00～12:30

<7/9締切>

不登校の子どもなど、学校や地域で孤立しがちな子どもたちの育ちを、地域全体でどのように支えていけるかを、教育委員会のスクールソーシャルワーカー等も交えて一緒に考えます。

横浜市青少年
育成センター
(定員50人)

第2回

「社会的養育のために仲間と考えよう

～子どもと家族そして支援者を孤立させないために～

横浜市青少年
育成センター
(定員50人)

10/4(日)

13:30～16:00

<10/2締切>

親元を離れて児童施設で生活している子どもたちを、里親として地域(さと)全体で育てようとする取り組みがあります。その取り組みについて学びながら、どうしたら孤立しがちな子どもたちを地域全体で支えていけるかを、行政関係者も交えて一緒に考えます。

第3回

「生活が苦しい子どもや世帯との寄り添いを考える」

横浜市青少年
育成センター
(定員50人)

11/10(火)

13:30～16:00

<11/8締切>

さまざまな困難を抱えて苦しい生活を送っている子どもたちがいます。このような世帯は行政と繋がりにくく、つながってもその「辛さと孤独」は癒されません。私たちには何ができるかを、行政の困窮者支援担当者等も交えて一緒に考えます。

シンポジウム

3/14(日)

午後

地域の子どものSOSをキャッチするアンテナを磨くために
私たちにできることを一緒に考えます。

かながわ
労働プラザ

司会：米田佐知子(こどもの未来サポートオフィス代表)

主催 よこはま 子ども・若者が孤立しない地域づくり研究会

会長：加藤彰彦

副会長：武藤啓司/青砥恭/岩間文孝/丸山俊輔

協賛：(公財)よこはまユース

後援：横浜市こども青少年局 横浜市健康福祉局 横浜こども食堂ネットワーク

(一社)ラシク045 横浜子ども支援協議会 みんなで話そう！横浜での子育てワイワイ会議

研究会ホームページは
こちらから



参加費
各回500円

お申し込み・お問い合わせ



045-717-6778

(事務局 鈴木(大倉山ミエル))



yokohama.kowaka.inclusion@gmail.com

申込フォーム

